

### 3 公 民

|               |       |              |
|---------------|-------|--------------|
| <b>「現代社会」</b> | 単 位 数 | 3 単 位        |
|               | 学科・学年 | 海洋科学科 第 1 学年 |

#### 1 学習の到達目標

|         |   |
|---------|---|
| 学習の到達目標 | 1 現代社会と人間について、広い視野に立って理解を深める。<br>2 現代社会の基本的な問題について、主体的に考え公正に判断する力や、人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養う。<br>3 自らの個性を発揮し、文化・福祉の向上、発展に貢献する能力と、平和で民主的な社会生活の実現、推進に向けて主体的に参加・協力する態度を育てる。 |
| 使用教科書   | 最新現代社会 (実教出版)   |

#### 2 評価の観点、内容及び評価方法

| 評価の観点及び内容  | 評価方法  |
|--|---|
| 関心・意欲・態度<br>現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業活動への参加の仕方及び態度</li> <li>・提出物の期限内の提出</li> <li>・プリントの記入内容</li> </ul> |
| 思考・判断・表現<br>現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業プリント</li> <li>・発表の内容や方法</li> </ul>                 |
| 資料活用<br>現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料読解</li> <li>・TVや新聞の活用</li> <li>・ファイルの点検</li> </ul>                |
| 知識・理解<br>現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄や学び方を理解しその知識を身につけている。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・発問に対する回答内容</li> </ul>                                |

#### 3 評価

|   |
|---|
| 単位の修得認定については以下の通りとする。   |
| ①出席が総授業数の2/3以上あること。遅刻や早退が無いこと。<br>②毎時間の目標を達成するように授業に意欲的に取り組むこと。<br>③提出物（授業プリント、課題プリント、その他指示されたものなど）を期限までに自分で仕上げ提出すること。<br>以上の①～③が全て認められなければ、定期考査の点数がいくら良くても修得は認定されない。 |
| 1・2学期の中間テストの成績は、考査の点数をそのまま成績とする。  |
| 1・2学期の学期末の成績は、中間と期末の考査を70%、平常点（上記の①～④）30%の配分で総合的に評価する。  |
| 年間の学習評価については、1・2・3学期の成績を総合評価して、単位の修得認定あるいは不認定を決定する。   |

#### 4 学習計画等

| 学期 | 学 習 内 容                    | 学 習 の ね ら い  | 考 査 |
|----|----------------------------|--|-----|
|    | I. 私たちの生きる社会<br>(1) 地球環境問題 | ①地球環境問題の現状について把握させると共に、これらの問題は自分たちにとって身近な問題であることに気付かせる。<br>②資源・エネルギーの利用における現状について理解させ、国際 | 中   |

|             |   |  |                       |
|-------------|---|--|-----------------------|
| 1<br>学<br>期 | (2) 資源・エネルギー問題<br>(3) 生命科学と情報技術の課題  | 的な動向にも注目させ、原子力や新エネルギーについて考察させる。<br>③現代医学と生命のあり方について考察させ、現代の情報化社会と情報倫理のあり方を理解させる。   | 間<br>考<br>査           |
|             | II. 現代の社会と人間<br>1) 青年期と自己の形成<br>(1) 自分らしく生きる<br>(2) 人間としてよく生きる<br>(3) 日本人としての自覚 | ①青年期の意義と自己形成の課題について考察させ、青年としての生き方を自覚させる。<br>②先哲の思想や宗教の意義に触れ、人間としていかに生きていくべきかを考察させる。<br>③日本の伝統と文化に触れ、国際社会に生きる日本人としての自覚を養う。                    | 期<br>末<br>考<br>査      |
| 2<br>学<br>期 | 2) 現代の民主政治と日本国憲法<br>(1) 現代国家と民主政治<br>(2) 日本国憲法の基本的性格<br>(3) 日本の政治機構と政治参加        | ①世界の主な国の政治体制を比較しながら理解させ、主権者としての参政のあり方について考えさせる。<br>②日本国憲法の基本原理を知り、保障されている権利の意味や意義について理解する。<br>③日本の政治機構について理解するとともに国民の政治参加について、その方法と重要性を理解する。 | 中<br>間<br>考<br>査      |
|             | 3) 現代の経済社会と国民生活<br>(1) 現代の経済社会<br>(2) 日本経済の特質と国民生活                              | ①経済社会について様々な角度から理解を深めさせ、企業の経済活動や金融・財政の仕組みとあり方について理解させる。<br>②日本経済の歩みについて理解を深めると共に雇用や労働の動向を経済社会の変化や勤労権の確保の観点から考察させ、さらに医療・介護・年金等の現状と課題を理解させる。   | 期<br>末<br>考<br>査      |
| 3<br>学<br>期 | 4) 国際社会と人類の課題<br>(1) 国際政治の動向<br>(2) 国際経済の動向と国際協力                                | ①国際政治・経済などの諸問題を理解させ、国際社会における日本の役割や日本人の生き方を考えさせる。<br>②経済協力や国際的な援助のあり方について、NGOやNPOなども重要な主体となっていることを考察させる。                                      | 学<br>年<br>末<br>考<br>査 |

※ 担当者からのメッセージ

|                   |  |
|-------------------|--|
| 確かな学力を付けるためのアドバイス | ①学習したことがらについて、ただ単に知識として記憶するのではなく自分自身の在り方生き方と関連させて考えるようにすること。<br>②疑問に思ったこと、興味・関心を持ったことがあれば、質問したり、自分で調べたりして、解決を目指す姿勢をもつこと。<br>③授業内容は板書事項をただそのまま書き写すのではなく、疑問に思ったことや自分自身の考えを記入したりして、説明をメモするなど工夫をすること。<br>④テレビのニュースや報道番組を見たり、新聞を読んだりして、学習した事柄を現実の生活の中で確認すること。 |
| 授業を受ける時に守るべき事項    | ①授業の開始時刻には、必要な教材・教具を準備して着席しているなど授業を効率的に進めるための妨げにならないよう、基本的なマナーを守ること。<br>②授業プリントを無くさないこと。授業を休んでプリントを貰わなかった時は、次の時間に必ず貰うこと。<br>③授業中に居眠りをしたり私語をしたりしないこと。<br>④提出物の期限は厳守すること。<br>⑤授業を欠席した場合には、クラスメートの協力を得て、板書事項だけは書き写しておくこと。                                   |